

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第38号—

令和2年1月14日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

感性を育む体験・経験を

さて、「1年が年々短く感じられるなあ」、そんな風に感じたことはありませんか。19世紀のフランス哲学者ポール・ジャネは、年を重ねると1年が短く感じられることを心理学的に解明しました。例えば50歳の人間にとって1年の長さは人生の50分の1ほどですが、10歳の子供にとっては10分の1に相当するのだそうです。

そう考えると、子供たちの1年はとても大きな意味をもっていると言えるでしょう。感受性豊かな子供の頃の経験は新鮮な驚きに満ちているため、経験の内容が豊富で長く感じられるのです。約2週間の冬休み、御家族で様々な体験をされたかと思います。年末年始の行事や旅行、共通の趣味など、大人にとっては毎年の繰り返しと感ずることもありますが、子供たちにとっては、新たな視点加わり、様々な発見と成長があったことだと思います。



新たな1年が始まります。本校では、生活科や社会科、総合的な学習の時間で多くの見学や体験活動を実施しています。ゲストティーチャーを迎えたクラブ活動、津吉茶市への参加、養護老人ホームの交流、米作りやお魚料理教室なども実施します。またPTAや地域の方々による催しを通し、子供たちは豊かな体験をしています。それぞれの体験が、わくわくした知的好奇心を湧きあがらせ、感性を育み、子供の成長の糧となっていくことを願っています。

赤い羽根共同募金

今年度も児童会活動の取組として、12月に「赤い羽根共同募金」の活動を行い、24,834円の募金が集まりました。集まったお金は、代表児童が直接、社会福祉協議会へお渡ししました。津吉小での贈呈式の様子が1月の「社協だより」に掲載される予定です。御協力ありがとうございました。



入賞おめでとう！！

様々なコンクールで、津吉っ子の活躍がありました。

ガリバーはがき絵国際コンクール	【ガリバー特別賞】小川（6年）
MOA美術館長崎県児童作品展 書写の部	【銀賞】江口（5年）

